

宇宙への夢語る

土井飛行士、衛星中継で参加

JAXAタウンミーティング

宇宙航空研究開発機構(JAXA)関係者や市民が意見交換する「JAXAタウンミーティング」が28日午後1時半から、帯広市内のとかちプラザで開かれた。アメリカで訓練中の土井隆雄宇宙飛行士も衛星中継で参加し、体験を交えながら、宇宙に懸ける夢や開発の方向などについて語った。

JAXA、帯広市、十勝圏航空宇宙産業基地構想研究会の主催。市内や航空宇宙実験が行われる大樹町などから約100人が参加。JAXAの樋口清司理事、的川泰亨宇宙教育センター長が訪れた。

日本がどんな宇宙開発を目指すべきかなどをテーマとし、会場からは「宇宙は力強いイメージ。行ってエネルギーを分けてほしい」「地球環境が危険なことを飛行士はもっとアピールしては」などさまざまな視点から声が出た。



市民と宇宙開発を話し合った的川氏、樋口氏(右から)中央スクリーンは土井飛行士

土井飛行士は「人類存続のため出る一つの理由。私は宇宙の神秘を見てなぞを解きたい」という好奇心に

駆られてきたと語り、「オンホールな宇宙に出て解決できる問題もある。環境を守ることを積極的に発信していきたい」と述べた。

樋口氏は、人工衛星で災害、環境問題に対応するシステムの構築を20年間の長期ビジョンを説明。的川氏は日本の宇宙開発について「こういう国際貢献をするか長い射程で取り組む姿勢が必要。未知に挑むのが宇宙

の魅力。そういう若者が「世紀を制する」と理解をたぎらして出てくる国が21世紀を掛けた。(小林祐)